

鍋倉山

2012年7月14日(土) 雨のち曇り

L: 池田T、ヤマメ

長野県飯山市の鍋倉山に行ってきた。ここは国内有数のブナの森である。鍋倉山の標高は1289mとそれほど高くなく、昔から地元の人たちに利用されてきた里山である。最近では「いいやまブナの森倶楽部」という団体が自然保護や観察道の整備に取り組んでいる。今回は雨上がりのしっとりとしたブナの森を楽しむことが出来た。



『巨木の谷』の入り口。木が覆っており、まるで "秘密基地" への入り口のような。位置は地形図に示されている通りだが、標識が一切無いので車で2回通り過ぎてやっと見つけた。自然保護のために入山者数を抑制したい意図が感じられる。中に入って10数m進むと案内標識がある。

駐車場はここから関田峠側に100mほど進んだ所にある。その駐車場にも案内標識は無い。



この森では樹齢200~300年のブナの巨木が見られる。



雨上がりで木肌が濡れている。
自分にとっては癒しの空間であった。



積雪期には雪の下敷きになるため、多くの木は根元が曲がっている。



雨上がりのためか、ヤマナメクジがあちこちにいた。
大きいものは体長15cm程度ある。



これは『森姫』。かつては優雅な姿だったらしいが、大勢の人が木に触れようと近づき、根元を踏み固めた影響で枯れてしまったとのこと。



こちらはまだ生きている『森太郎』。「日本の巨木百選」に選ばれている。ロープが張られているので近づくことは出来ない。





『森太郎』の幹の下部。
300年以上生きてきた風格
を感じさせる。



鍋倉山手前の稜線上では
細めのブナが高い密度で生
えていた。
ここは『信越トレイル』に指定
されているルートである。



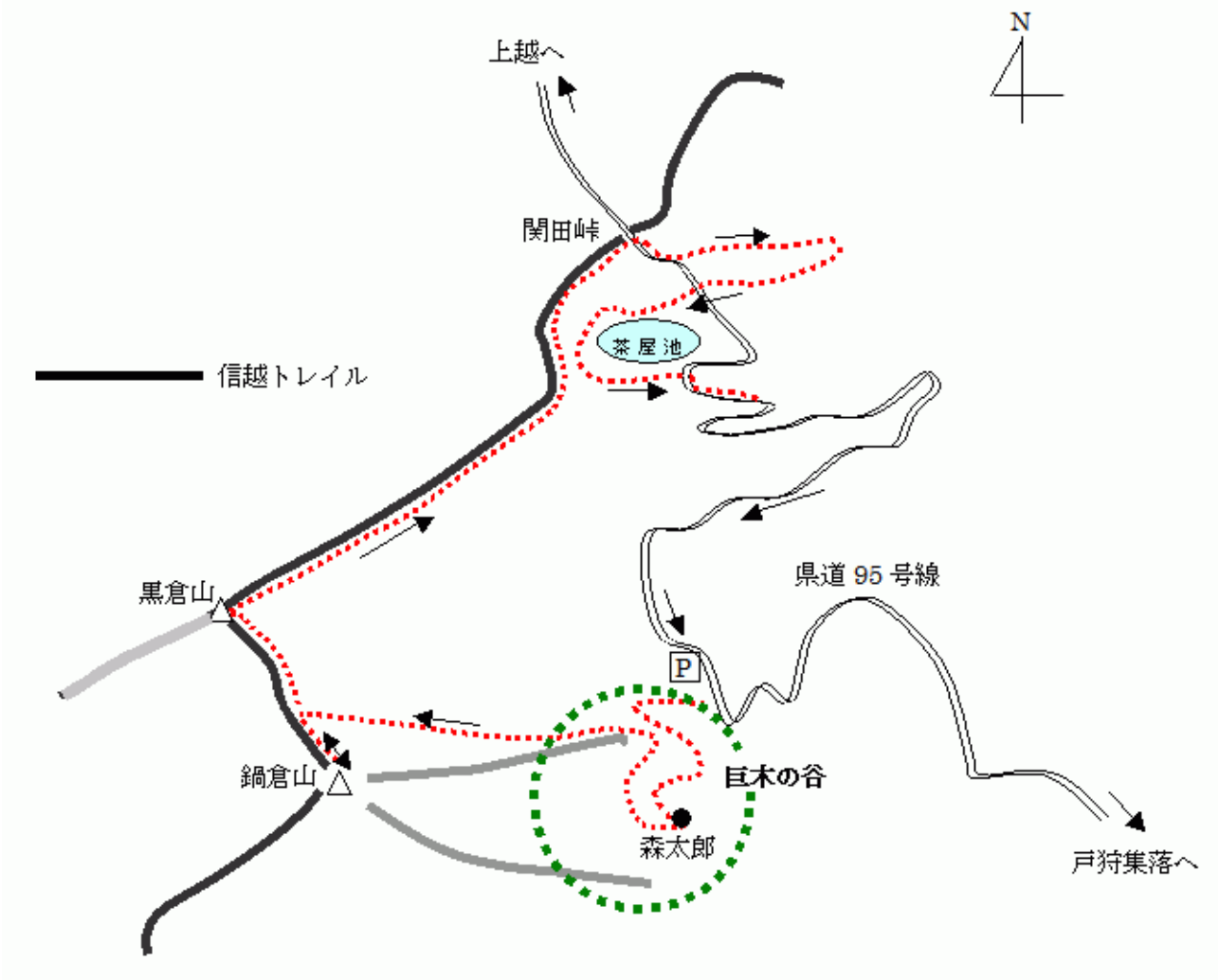
曲がりくねったブナ。一旦は
折れたが再生したのだろう
か？



関田峠に近い稜線上であるが、色白のブナが整然と並んでいる。
比較的若いブナか？



関田峠で『信越トレイル』を外れて遊歩道を歩いた。
茶屋池を一周してから県道を歩いて駐車場に戻った。



<タイム> 駐車場8:15 – 森太郎9:00 – 鍋倉山10:10～10:25 – 黒倉山10:40～11:00 – 関田
 峠11:40 – 茶屋池12:30 – 駐車場13:45
 以上